資料１－２

新しい集出荷クラウドシステムで
JA様の集出荷販売業務をDX

ニマル
nimaru

第4回官民合同タスクフォースnimaruご説明資料
株式会社kikitori

会社紹介｜会社概要

会社名	株式会社kikitori
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 住友不動産虎ノ門タワー19階
代表者	代表取締役　上村聖季
設立日	2015年3月27日
決算期	2月
資本金	100,000,000円（資本準備金を含む）
従業員数	42名（パート・アルバイトを含む）
電話番号	03-6277-7833
事業内容	農業分野向けアプリケーションシステムの開発・運営 農業現場のシステムコンサルティング 果実小売・加工店舗の運営（都内2店舗） （※ 東京豊島中央卸売市場の買参権を有する）
取引先	全国の卸売事業者、農業協同組合、産地商社 他

会計・税務事務所	SBCパートナーズ税理法人
顧問弁護士事務所	プロコミットパートナーズ法律事務所
ウェブサイト	https://kikitori.jp
所属団体	一般社団法人全国青果卸売市場協会（参助会員） 市場流通ビジョンを考える会（役員幹事） JA-DX推進研究会（サポーター企業）

ミッション

農とテクノロジーを通じて世界中の人々を笑顔にする

農業の持つ可能性をテクノロジーの力で最大限に引き出し、活かすことで世界中の人々が笑顔で幸せな社会を実現したい。そんな想いを胸に、私たちは新しい農業の形にチャレンジしています。

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

青果、花卉、鮮魚の主要な市場関係者が100社以上参加する業界団体の役員幹事として、流通及び販売の在るべき姿を日々考えながら事業に取り組んでいます。

今年度より、大手スーパー5社（東急・サミット・マルエツ・ヤオコー・ライフコーポレーション）を中心に15社が参加するSM物流研究会との会議体を設置。流通に関わる様々な業界関係者との取り組みを進めています。

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

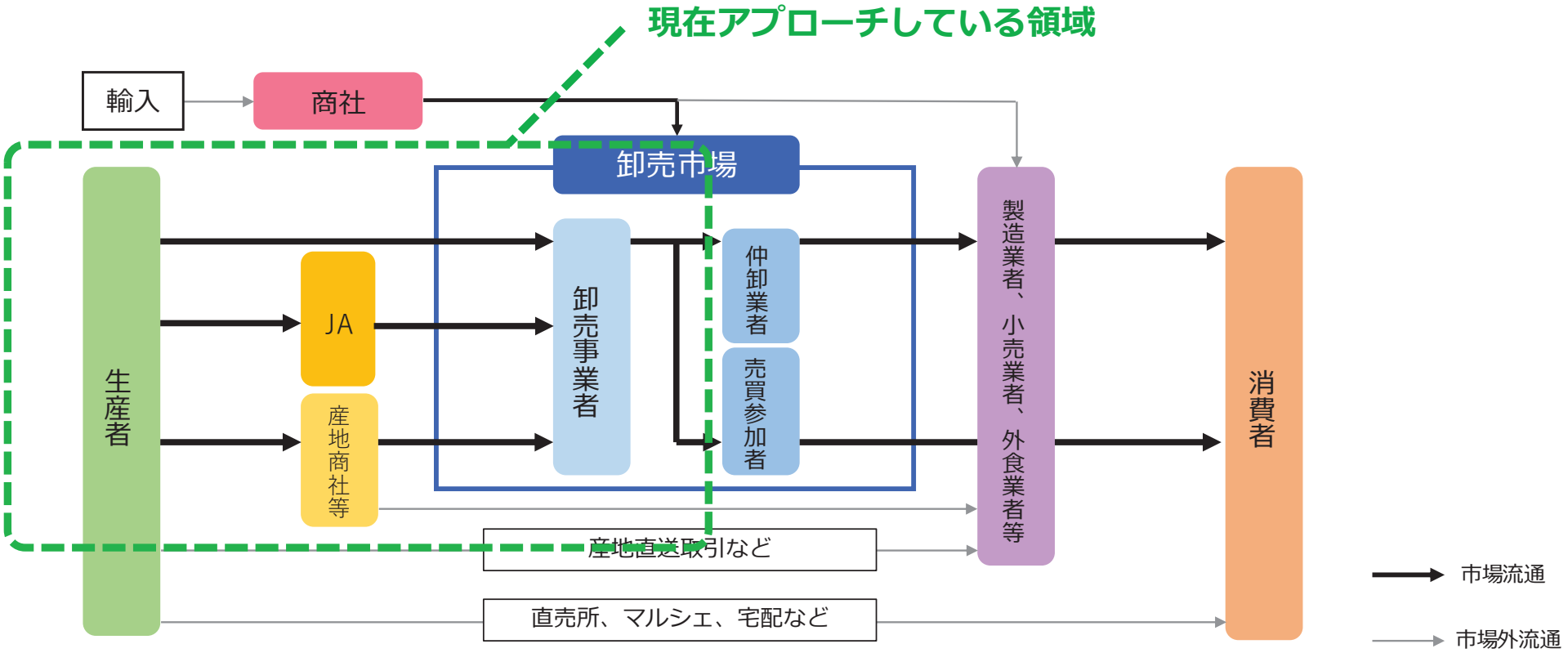
JA様におけるDXの全体像の構想を持ちながら、各取組みにおいては徹底した現場主義により
実際にサービスを利用される現場の皆様にとって『痒いところに手が届くシステム作り』を実現しています

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

nimaru

デジタル化が遅れている川上・川中領域における流通現場のデジタル化、流通のデータ化に取り組んでいます

＜国内における青果物の流通経路＞



Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

『nimaru（ニマル）』は、生産者やJA、市場（卸売会社）など農産物の取引を行う事業者の間で
集出荷データ連携が可能な新しい業界のデータプラットフォームです

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

実質的に委託流通が中心の国内流通において
市場流通の約6割を占めるJAから（系統出荷）の出荷情報のデジタル化に対するニーズが業界全体で強い

系統出荷の情報のやり取りを
デジタル化してほしい

＜市場（卸売会社）＞

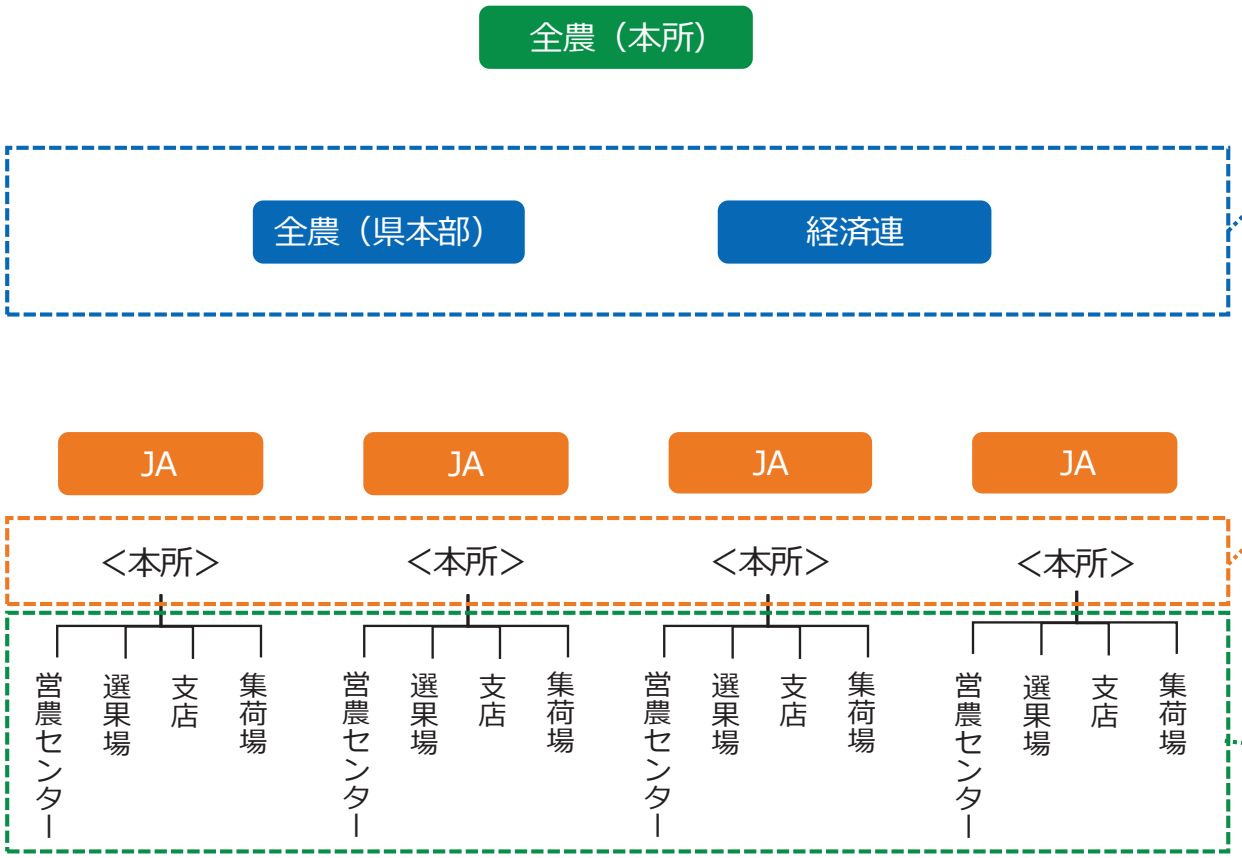
Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

農産物流通のデジタル化における課題

流通において大きな役割を果たすJAが、農産物流通におけるデジタル化のボトルネックの一因となっている

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

JAの流通現場のデジタル化における課題



Excelやノートで処理されているケースが多い

<対象>
県本部、経済連

<提供者>
全農園芸部（本所）、電算センターなど

<システム内容>
全農県本部、経済連における基幹システム（入荷、販売、在庫、精算、債券管理 etc.）

<システム例>
園芸共通システム、園芸パッケージ、その他

<対象>
JA（県域）

<提供者>
各都道府県の農協電算センターなど

<システム内容>
JA（県域）における基幹システム（入荷、販売、在庫、精算、債券管理 etc.）

<システム例>
各都道府県、地域、事業者ごとに異なる

<対象>
JA（集荷拠点）

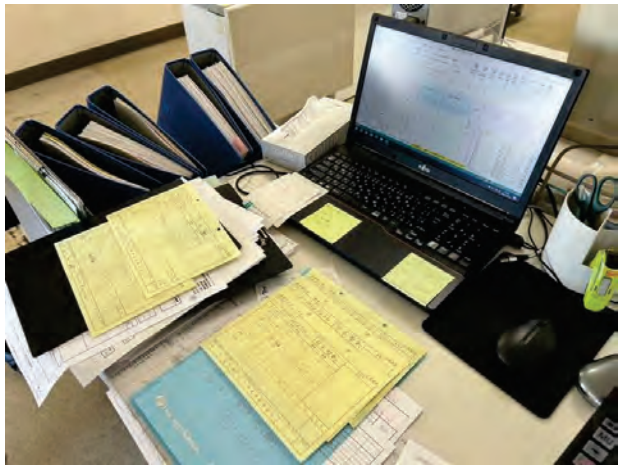
<提供者>
全農園芸部（本所）、電算センターなど

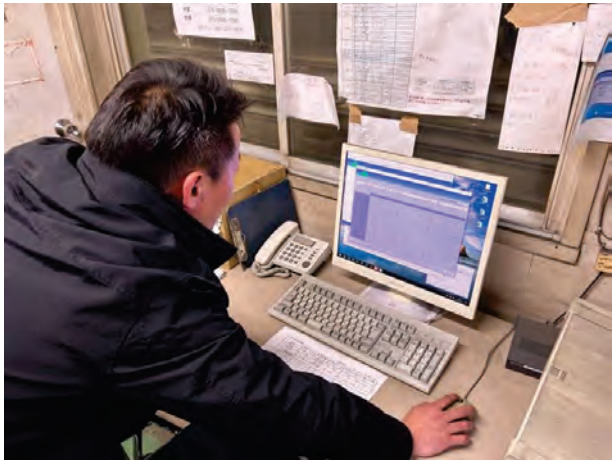
<システム内容>
集荷拠点における集出荷管理システム（入荷、分荷、出荷、帳票作成 etc.）

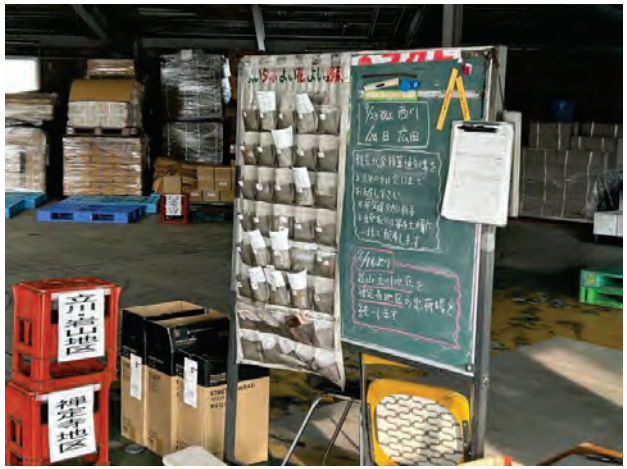
<システム例>
地域ベンダーの個別システム

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

JAの流通現場のデジタル化における課題



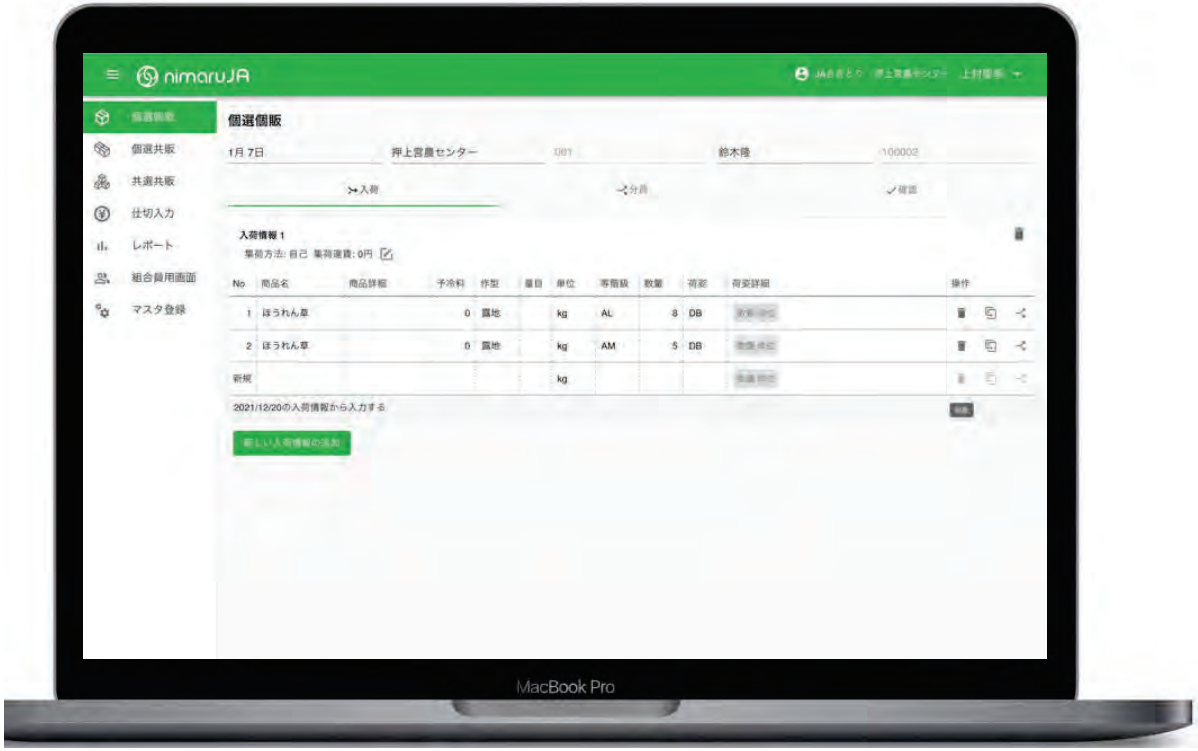




Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

JAの集出荷現場向けクラウド機能をリリース

JAの組合員や出荷先事業者、運送会社などJAの販売に関わる様々な事業者と繋がり
現場業務のデジタル化が実現できる新しい集出荷クラウドシステム『nimaruJA』を2022年にリリース



＜nimaruの5つのポイント＞

① 組合員や出荷先、運送会社との**データ連携。**荷受や販売業務にかかる職員様の負担を大幅削減

② 拠点間での**情報共有**と現場業務の**見える化**

③ 既存の**電算システムとの連携**が可能

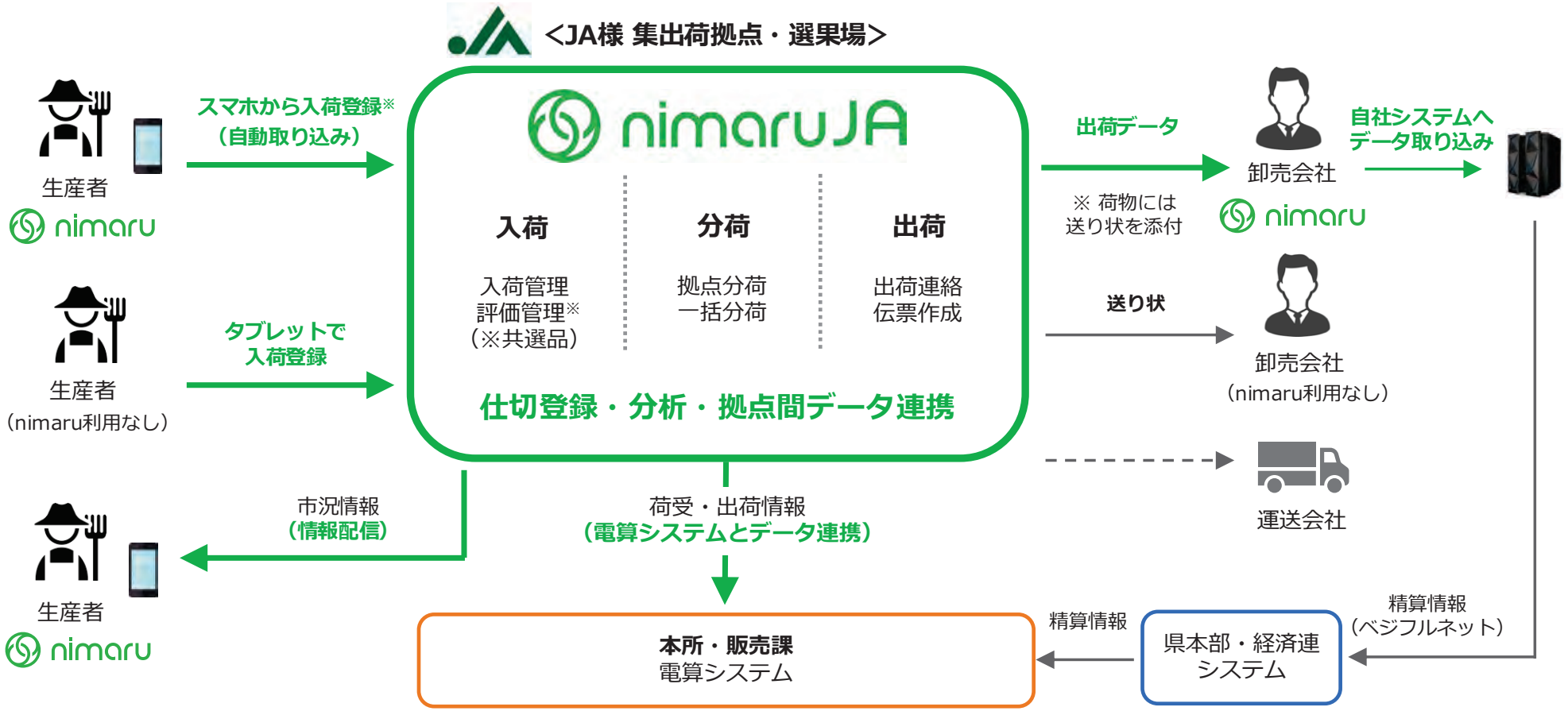
④ 使い勝手の良い**操作性**（最新のWeb技術によるUI/UX）

⑤ クラウドサービスで**低コスト**＆**手軽**な導入・運用が可能

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

JAの集出荷現場におけるnimaruの活用イメージ

生産者や出荷先など取引事業者間での**データ連携**により販売現場のデジタル化を実現



Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

生産者が参加しやすい仕組み

これまでのシステムとは異なる手軽な利用体験により、全国の生産者様から高い評価を頂いています。

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

生産者が参加しやすい仕組み

幅広い年齢層の組合員にご利用いただける様々な工夫を通して荷受業務の省力化が可能です。
従来通りの紙による荷受もまとめて処理が可能なため二度手間にもなりません。

事業者様にて組合員ごとに事前に出荷商品及び規格のカスタマイズが可能なため
組合員様側で煩雑な選択の手間がなく、高齢の組合員様でも簡単に出荷数量の登録ができます

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

荷受の結果を組合員へタイムリーにフィードバック。組合員はスマホ一つで過去の出荷履歴を管理できます

職員様はタブレットで
簡単に荷受処理

荷受時の荷物の写真なども手軽に共有ができるため、組合員とのコミュニケーションをスムーズに行えます

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

荷受から出荷まで一気通貫で処理

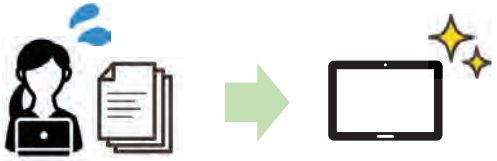
nimaru

クラウドの活用で場所や時間、端末を問わず分荷（出荷割当て）作業が可能です

各拠点の業務（入荷登録、分荷、帳票出力等）を様々な場所・端末から行って頂くことが可能です
（拠点一括分荷機能などJA様の集荷・販売業務の最適化、最大化につながる様々な機能を実装しています）

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

nimaruの導入効果



手書き・手入力作業の削減

生産者から送られる荷受データの取り込みにより、紙の個票の入力作業を削減。電算システムへのデータ取り込みにより、事務スタッフの人件費削減、配置転換が可能です。

通信費・紙代の削減（ペーパーレス化の推進）

現場で使用される膨大なFAXの通信費や複写式個票・送り状の費用が不要となります。加えて、紙の管理や紛失リスクなども防止することができます。

事務ミスの防止

生産者から送られる荷受データ取り込みにより、入力の際の生産者の選択ミスや転記ミスによる誤精算のリスクを防ぎます。強固な現場のコンプライアンス体制が構築できます。

入出荷情報の素早い収集・共有による有利販売・最適な物流の実現

入荷情報を荷物の入荷前に把握ができることで事前の販売組み立てをサポート。分荷した出荷明細情報はボタン一つで出荷先へデータ送信。有利販売や最適な物流を実現します。

職員の働き方改革

クラウドの仕組みにより、場所や端末に制約を受けない職員の柔軟な働き方をサポート。休日出勤や拠点間、出張先からのFAXや紙による情報連絡をなくします

業務の属人化防止

業務の情報は全て組織内で共有される仕組みのため、特定の職員に依存しない組織を実現。業務の各種見える化により、個人の経験や能力に頼りすぎない業務の標準化を実現します。

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

生産者も巻き込み、**ぶどうを中心とした集出荷オペレーションを改善**
事務効率化を大幅に改善し、**1日4時間の業務を削減！**

- 導入事業者：**晴れの国岡山農業協同組合**
- 職員数：**3,160名**
- 導入日：**2024年4月~**

集出荷業務が紙の業務が非常に多く、繁忙期には1日の半分以上を使い入力作業が発生。特に連休明け等には更に膨大な入力作業が必要な状態に。

検品を部会員当番制で実施する中で、協力を得て取り組みを実施！
1週間程度ですぐに慣れていただき、問題なく取り組みをスタート。

県の電算システムとを連携することで、**入力作業が1日30分に短縮！**
紙の集計作業等もなくなることで**ミス、間違いも防止！**

これまで後日お渡ししていた**選果結果を自動で即日デジタルFB！**
組合員さんからも「**次の栽培や出荷の参考になる**」という好評の声

情報配信も同時に活用を進めこれまで連絡員経由で、
1週間かかっていた情報が**リアルタイムに配信可能**に！

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

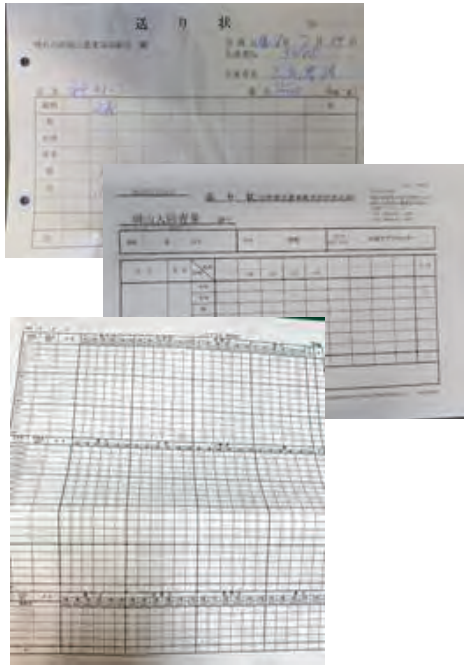
事例：JA晴れの国岡山　東部広域営農経済センター　山陽支店様

nimaru

導入前

荷受時の紙伝票を販売システムにパンチ入力

4時間以上



導入後

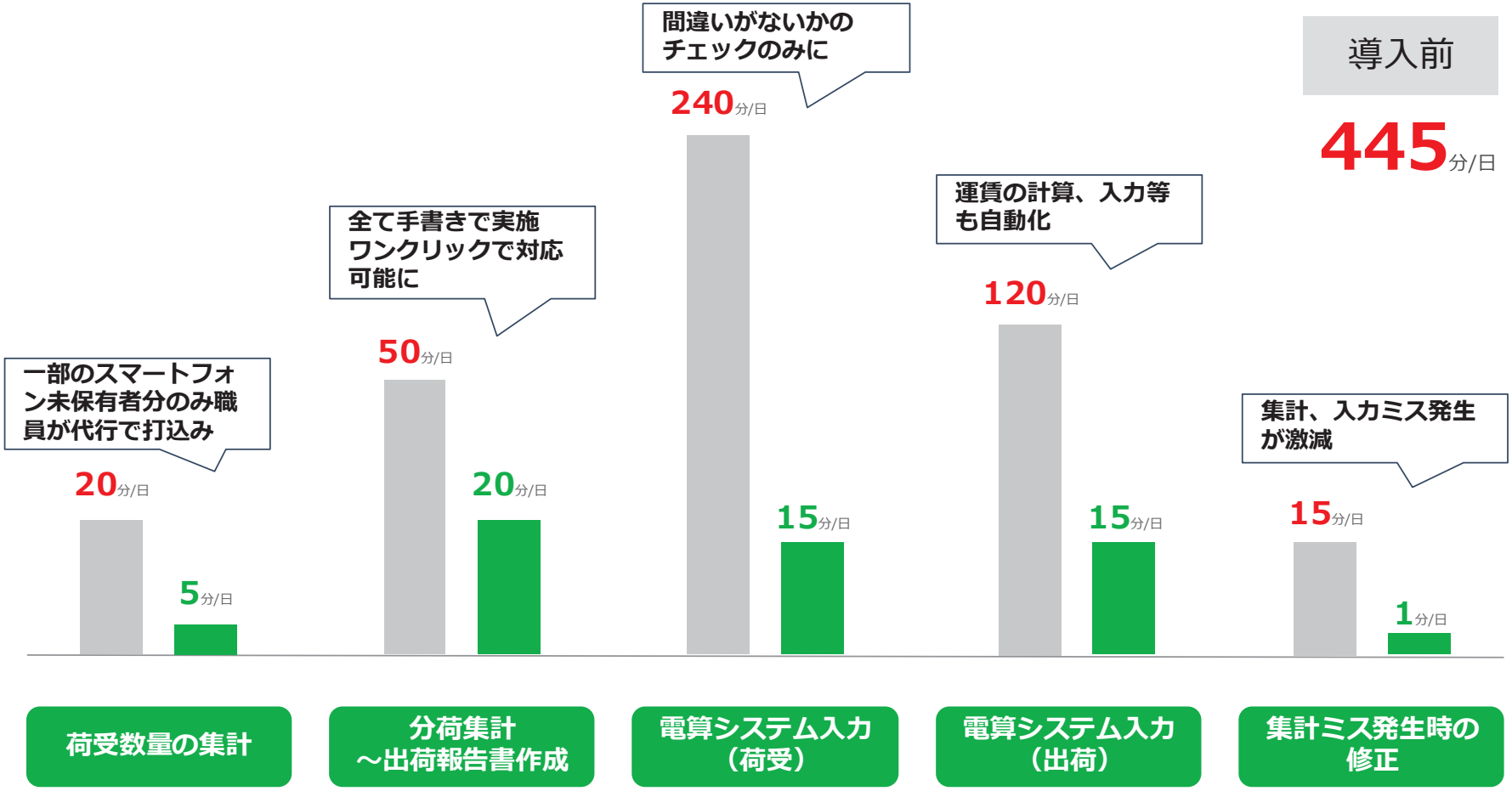
データをダウンロードし、インポートするだけ

15分

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

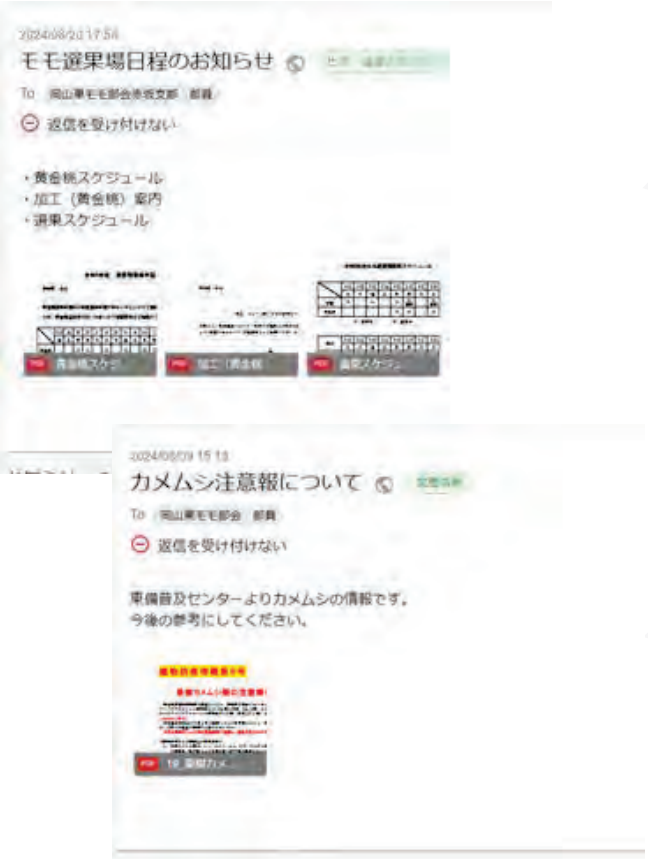
事例：JA晴れの国岡山　東部広域営農経済センター　定量効果詳細

nimaru



Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.

組合員とのコミュニケーションのデジタル化の取り組みと効果



【導入前】
・桃の部会では瀬戸・山陽・赤坂の3支店で合計380人の部会員
・各支部から選ばれた代表の連絡員が1人約30名の部会員さんの自宅へ巡回ながら書類の配布を実施
・例えば桃の選果機の稼働日を連絡する際に、部会員さんの手元に情報が届くまで1週間近くかかっていた
・手間がかかることもそうだが、早くから選果機を稼働できるのに期間が短くなる、地域によっての時間差による不公平さが顕在化

【導入後】
・郵送案内のみで1カ月で約**70%の生産者様が登録に成功**
・課題だった桃の選果機の**稼働スケジュール案内をすぐに伝達**
・営農情報等もリアルタイム配信を実施し、**営農指導を強化**！
・今後、90%の登録を目指し、案内を強化中！

Copyright @ kikitori Co.,Ltd. All rights reserved.